

近視進行抑制薬の認知度

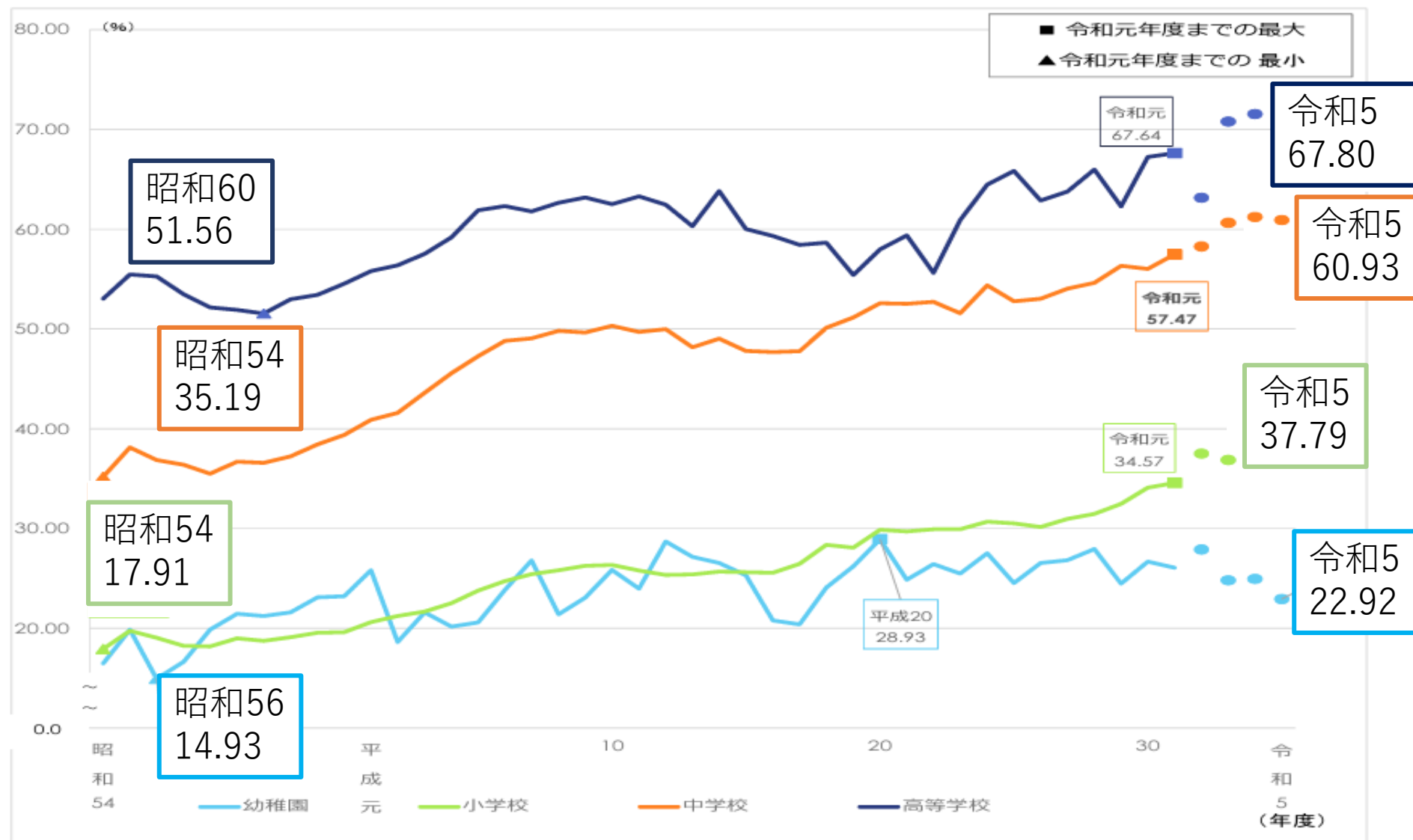
ーアンケート調査を行った結果ー

アイ薬局 実習生

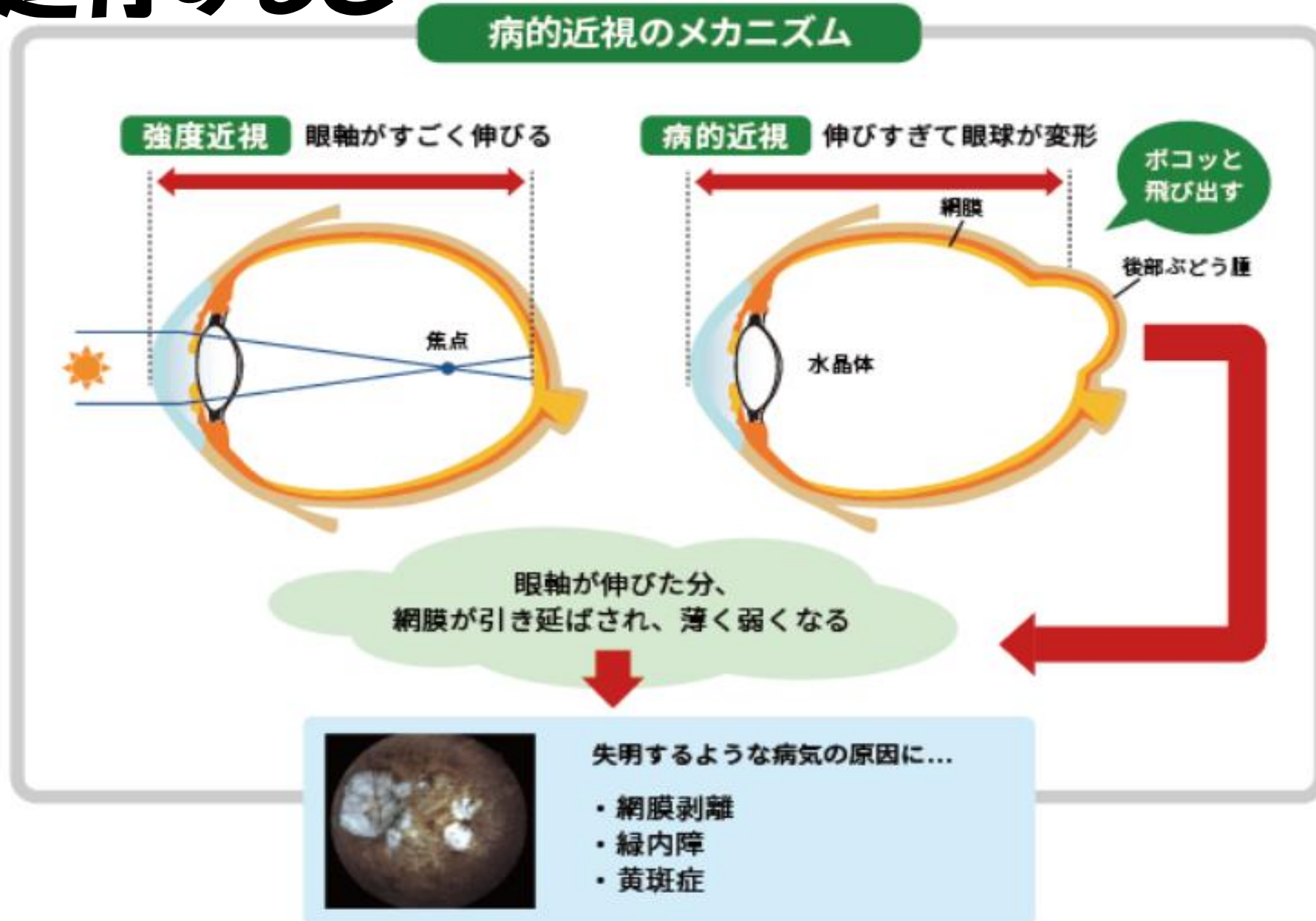
大阪大谷大学 薬学部 山下純加

子どもの近視の増加

○「裸眼視力1.0 未満の者」の割合

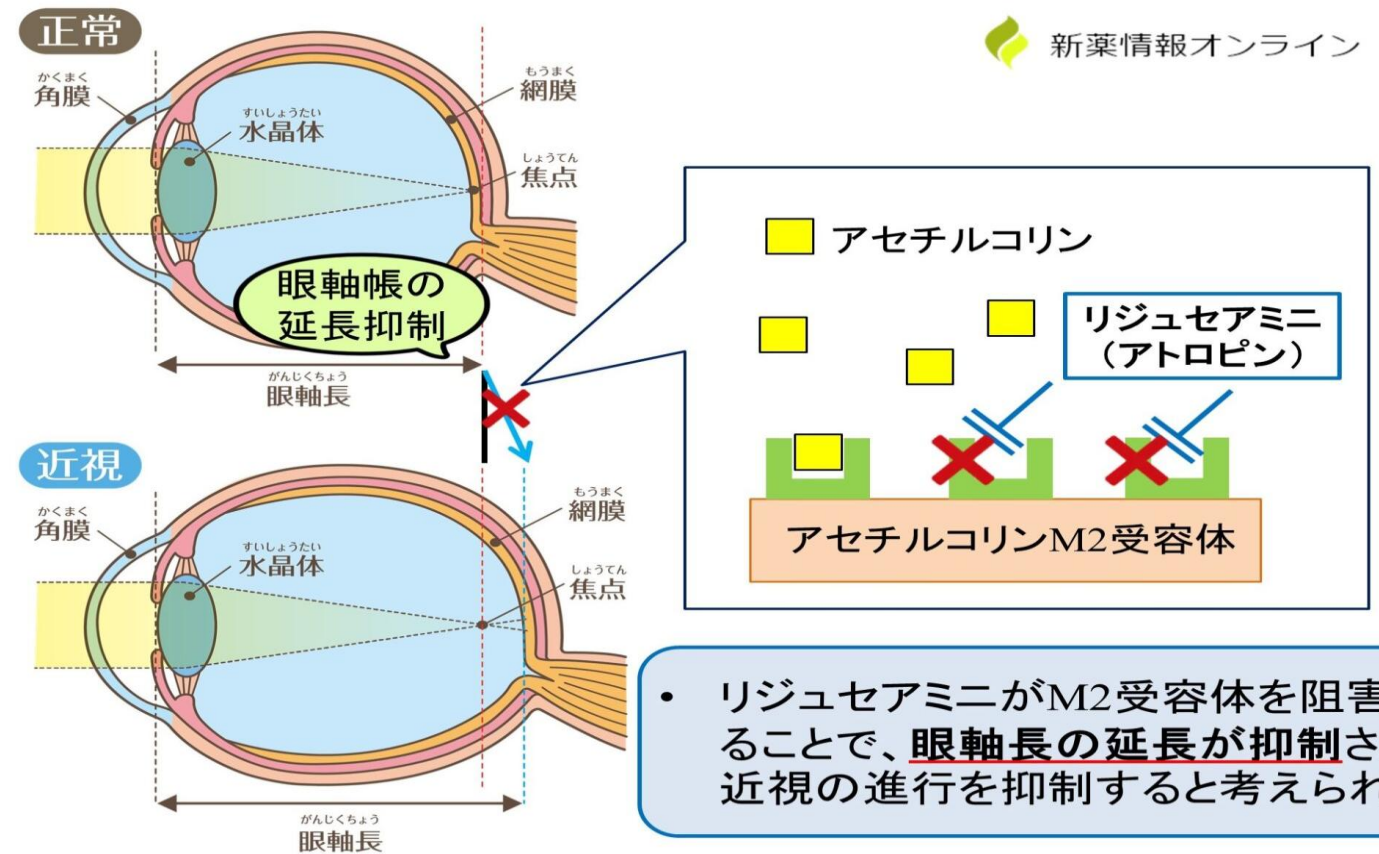


近視が進行すると



近視進行抑制薬とは

- ・ 近視の原因となる眼軸長の伸びを抑え、近視の進行を遅らせる



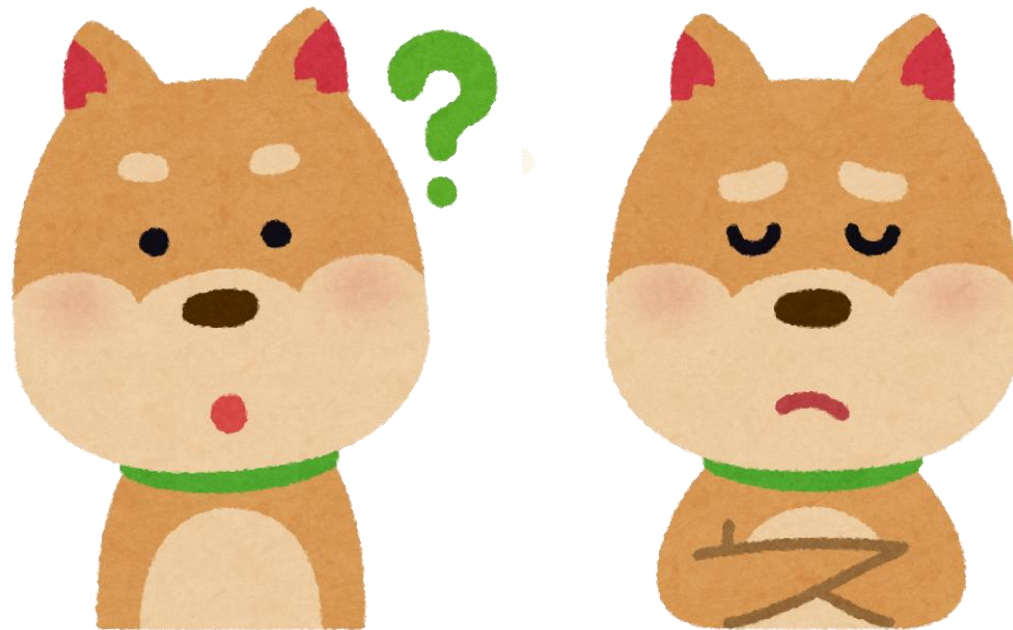
リジュセアミニ点眼液の治療対象となる方

- ・ **年齢**：5歳～18歳
- ・ **近視の程度**：軽度～中等度の近視（-1から-6程度）
- ・ **生活習慣**：就寝前の点眼が毎日可能な方
- ・ **通院**：定期的な眼科通院が可能な方
- ・ **費用**：診察・検査→保険適用、薬代→自費



アンケート調査の目的

- ・ 認知度を把握する
- ・ 治療への意向を知る
- ・ 不安や疑問を把握する
- ・ 情報提供に役立てる



アンケート概要

- ・ **対象**： 6 歳前後の子どもの保護者
(31件/112名)
- ・ **方法**： 無記名アンケート
- ・ **所要時間**： 約3～5分程度
- ・ **回答方法**： 選択式 + 自由記述

近視進行抑制薬に関するアンケートのお願い

近年、子どもの近視は増加しており、将来的に強度近視へ進行すると、網膜剥離や緑内障などの眼疾患のリスクが高まることが知られています。近視の進行を抑制する治療法として点眼薬の近視進行抑制薬が用いられるようになっていますが、その認知度や受け止め方は明らかになっていません。

そこで本アンケートでは、6歳前後の子どもを持つ保護者の皆様を対象に、近視進行抑制薬の認知度、治療に対する意向、不安に感じる点や必要としている情報を調査することを目的としています。

お手数をおかけしますが、以下のリンクよりアンケートにご回答いただけますよう、お願い申し上げます。

記

【アンケートの URL】

<https://forms.gle/ZNiHWSHnDnMebBC7A>

右の QR コードからも読み取ることができます。



1. 回答期限：2026 年 7 月 1 0 日（金）
2. 回答に要する時間：約 5 分程度です。
3. 匿名による選択回答形式です。

〈本調査問い合わせ先〉

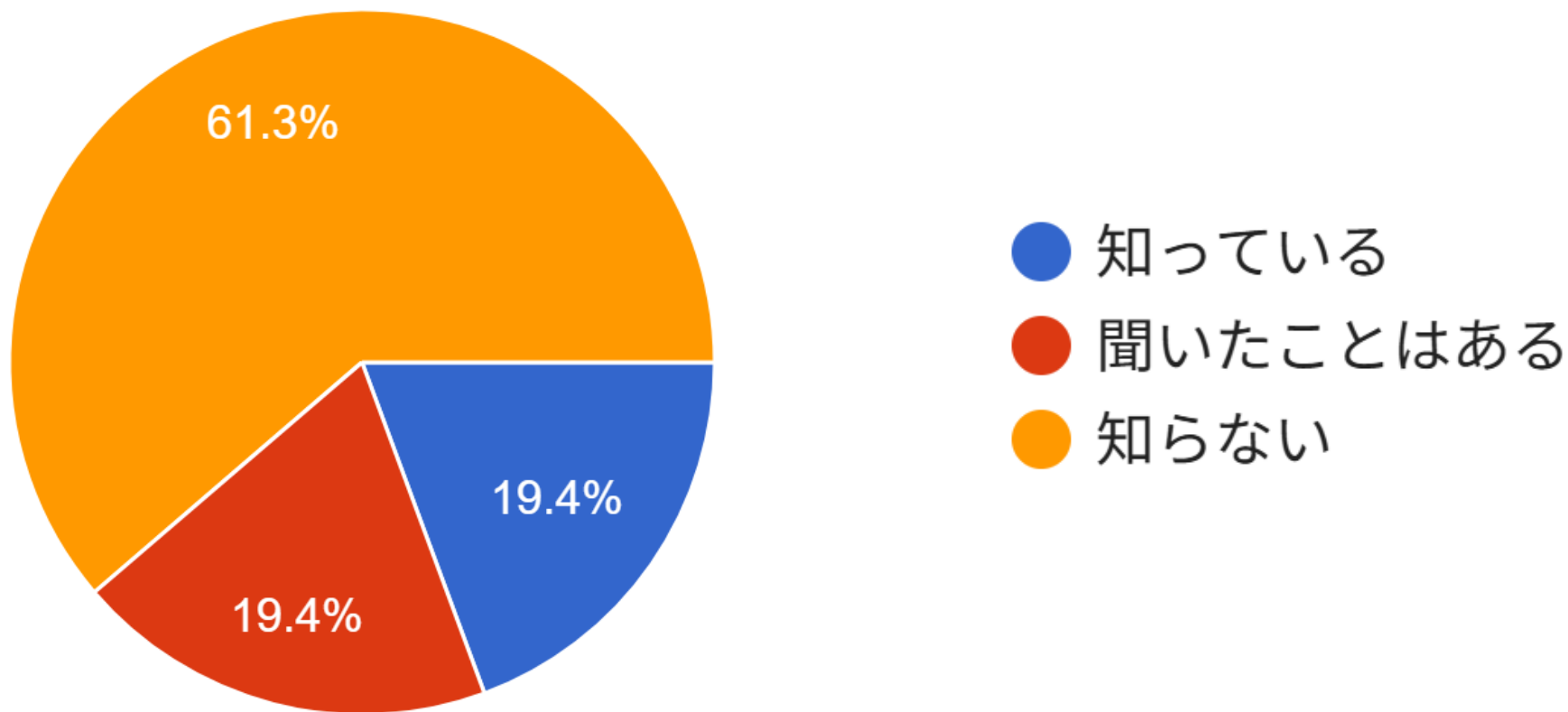
〒580-0043 松原市阿保 3-5-25

アイ薬局(担当：幼稚園薬剤師 吉田由乃)

TEL & FAX 072-349-0508

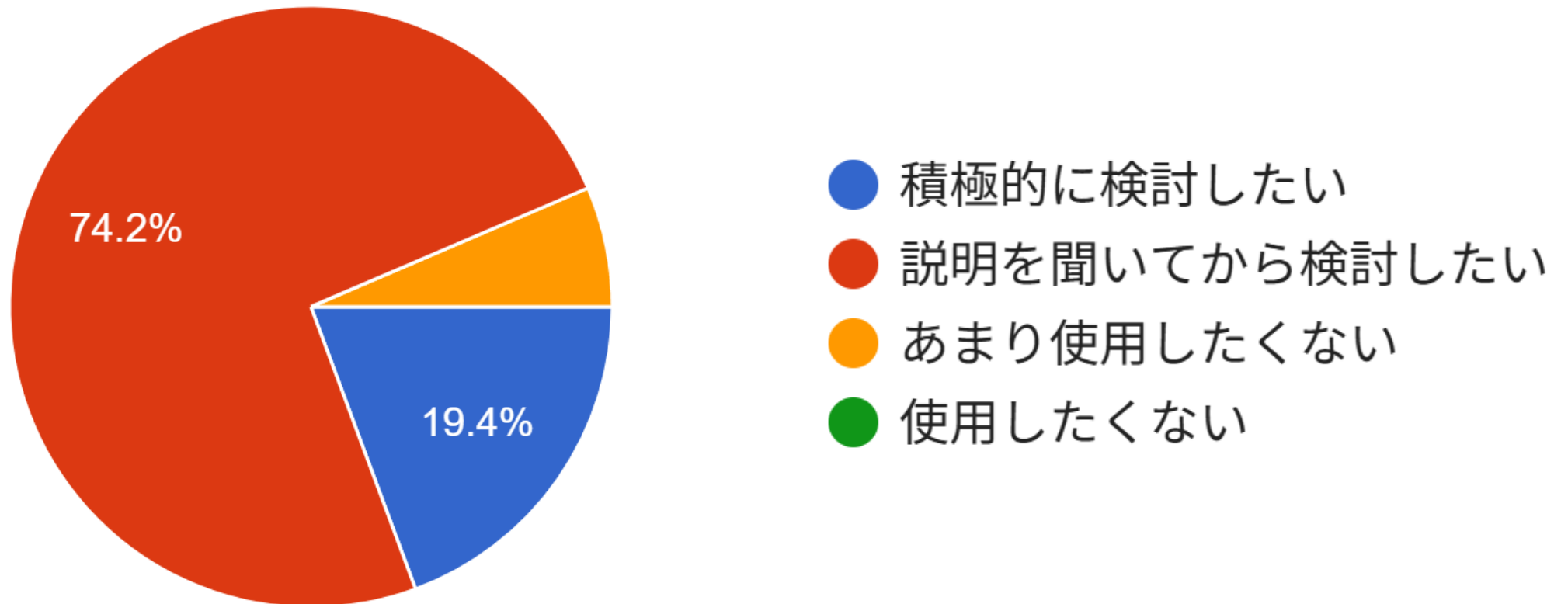
質問①

近視の進行を抑えるための点眼薬(近視進行抑制薬)があることを知っていますか。



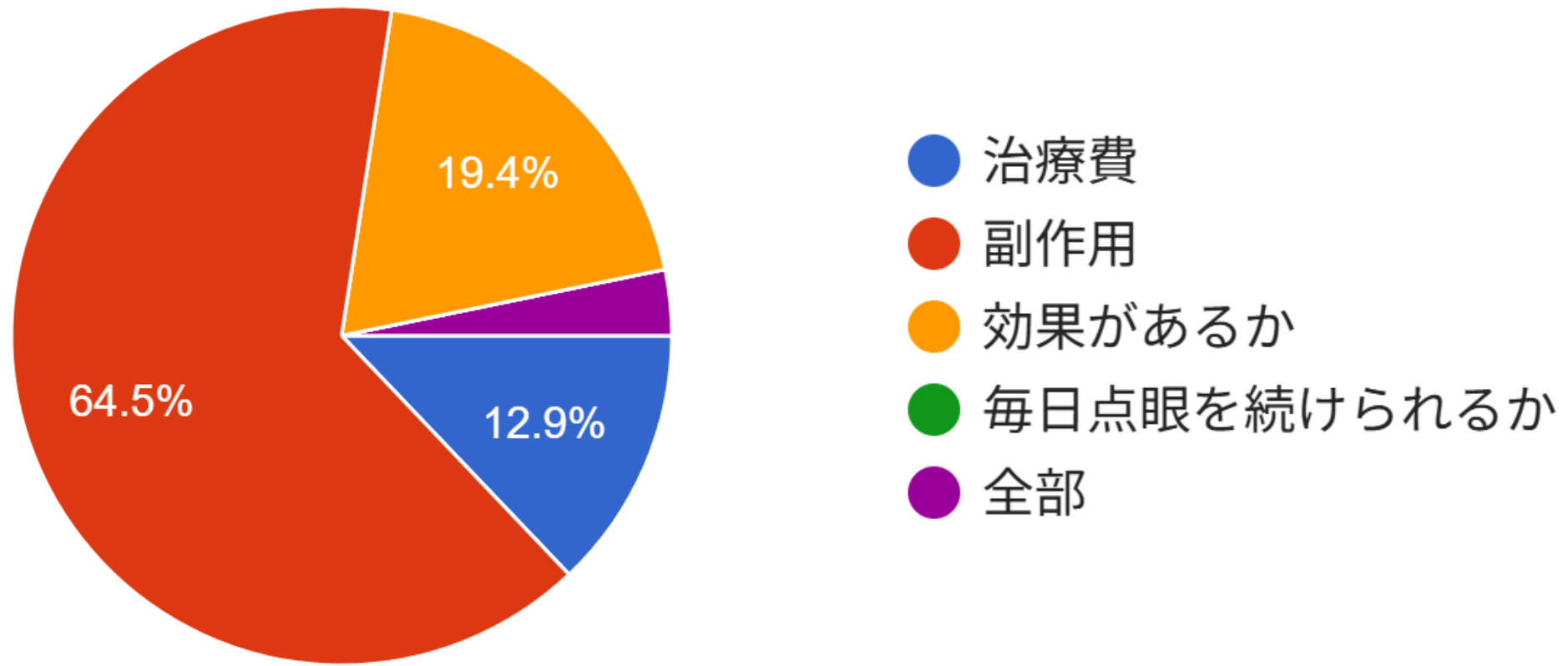
質問②

お子さんが近視進行抑制薬の治療を勧められた場合、使用を検討したいと思いますか。



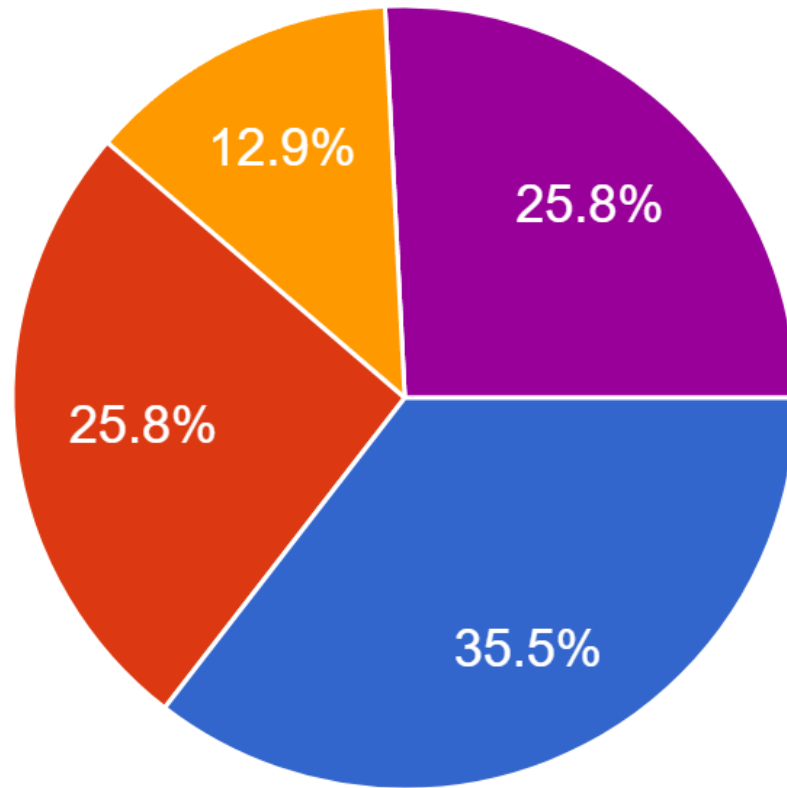
質問③

近視進行抑制薬を使用する上で最も気になることは何ですか。



質問④

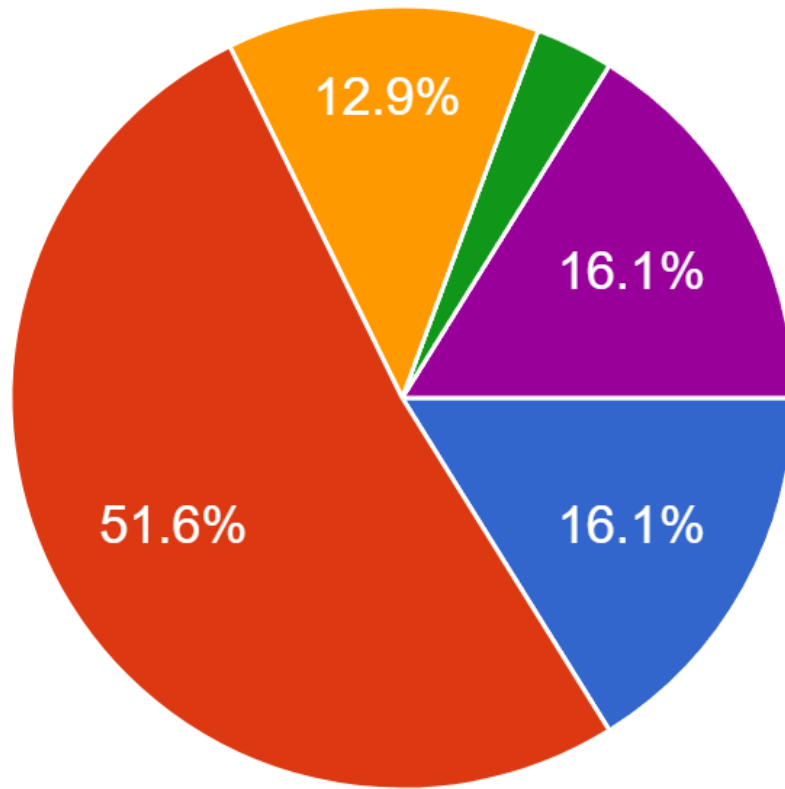
近視進行抑制薬について、どのような情報があれば治療を検討しやすいですか。



- 効果について
- 副作用について
- 費用について
- 治療期間について
- 医師・薬剤師からの詳しい説明

質問⑤

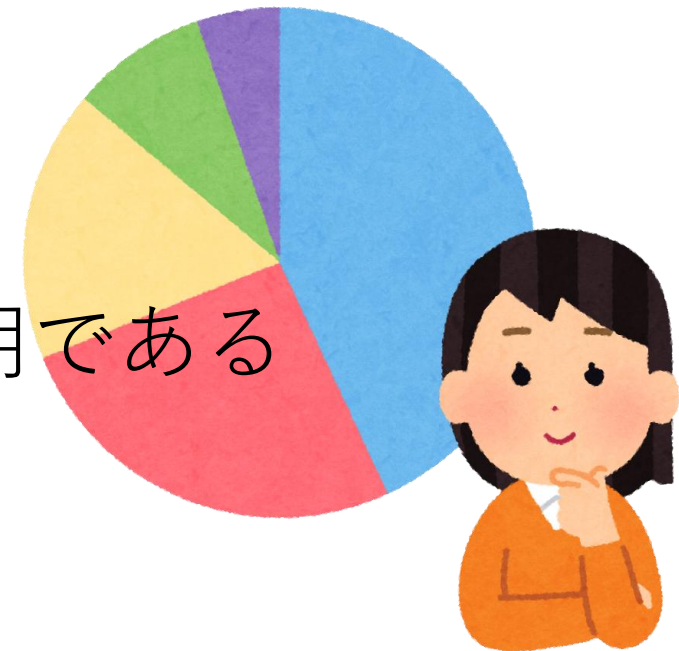
お子さんの近視の進行を予防するために、普段から意識していることはありますか。



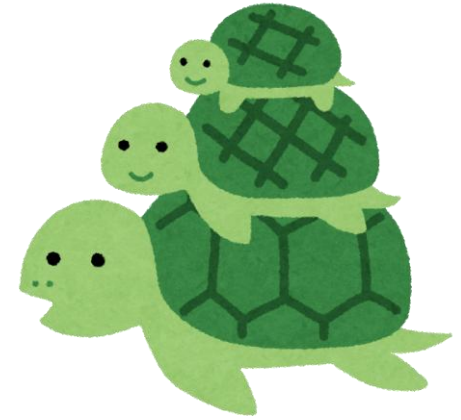
- 外遊び・野外活動を増やしている
- スマートフォンやタブレットの使用時間を決めている
- 読書や勉強時の姿勢・距離に気をつけている
- 定期的に眼科を受診している
- 特に意識していない

アンケート調査を終えて・・・

- ・ 回答率があまり高くなかった
→ 近視進行抑制薬についての説明不足
- ・ 近視進行抑制薬の認知度は高くないが、
保護者は治療に関心を持っている
- ・ 保護者が最も不安に感じているのは副作用である
- ・ 医師・薬剤師による説明の重要性が高い



まとめ



- ・近視進行抑制薬を知らない保護者が多かったが、保護者の多くは、説明を受けた上で治療を検討したいと考えていた

→メーカーからポスター等をもって薬局内に掲示する

- ・最も不安に感じていたのは副作用で、治療を前向きに検討してもらうためには、情報提供が重要である

→アンケート調査を行った幼稚園に詳しい情報を書いたものを配布する

ご清聴ありがとうございました

